

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月12日(金)

事務事業		移住定住推進事業			担当課	企画課	担当係	企画係	管理番号	3131
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり			根拠法令 個別計画等	深谷市移住支援金交付要綱			
	小項目	1	移住定住の推進							
	主要プロジェクト	3	「ふかや」の魅力を生かした移住定住推進プロジェクト							
事業概要		市内外の人が魅力を感じ、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちを目指すものである。								
目的 ※何のために		移住先の候補として検討してもらうため、移住に係る経済的な負担を軽減し、移住しやすい環境整備を図る。								
対象 ※誰・何を対象に		移住検討者								
手段 ※どのように		移住希望者のニーズ把握、移住希望者に寄り添う相談、きめ細やかな支援体制の構築								
成果 ※何を求めるか		子育て世代の移住促進								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目	細事業名		前年度決算額(円)
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	7	企画費	移住定住推進事業	5,209,410
本事業の 主な業務		・ 移住希望者のニーズ把握							・	
		・ 移住希望者に寄り添う相談							・	
		・ 移住者に対する補助金交付							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画			・ 移住定住促進事業の実施 ・ 移住支援補助金の交付	・ 移住定住促進事業の実施 ・ 移住支援補助金の交付	・ 移住定住促進事業の実施 ・ 移住支援補助金の交付	・ 移住定住促進事業の実施 ・ 移住支援補助金の交付	
事業費	予算（現額）	0	1,100,000	5,979,000	6,110,000	6,110,000	
	決算額	0	1,000,679	5,947,127	5,209,410	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	0	1,000,679	5,947,127	5,209,410	6,110,000
人件費	従事職員数（人）		0.55	0.40	0.40	0.65	
	人件費相当試算※		4,405,591	3,288,897	3,390,838	5,725,518	
	総事業費試算	0	5,406,270	9,236,024	8,600,248	11,835,518	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	深谷市移住支援金利用世帯数 (累計)	目標値	世帯		10.00	30.00	60.00	100.00	150.00	
		実績値			11.00	60.00	129.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷市移住支援金利用世帯数（累計）							
	実績値の算出式									
成果指標 1	総人口	目標値	人		141,677.00	141,364.00	141,146.00	140,396.00	139,635.00	
		実績値			141,101.00	140,418.00	139,866.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		人口減少対策を講じた場合に推計される人口							
	実績値の算出式									
成果指標 2	深谷市にずっと住み続けたい と思う市民の割合	目標値	%		67.60	69.10	70.60	72.10	73.60	
		実績値			65.40	66.70	66.60			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷市民まちづくりアンケート							
	実績値の算出式									
成果指標 3	社会増減数	目標値	人		331.00	347.00	364.00	383.00	402.00	
		実績値			967.00	702.00	750.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		H30-R4の5か年平均値をベースとし毎年5%増加した場合を目標値とした							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	令和7年度は、申請者の利便性の向上及び職員の事務の効率化のため、オンラインでの申請を開始し、また、過去の支給実績や課題の検証結果を基に、より多くの移住者が支援対象となるよう、補助内容の一部見直しを行った。その結果、深谷市移住支援金利用世帯数（累積）は、目標値60件に対し実績値129件で目標を上回った。また、ホームページでのPRをはじめ、市内不動産関係団体やふるさと回帰支援センター（東京・大阪）等の協力を得たチラシの配布を行い、効果的に周知することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	人口の増減について、総人口は、目標値141,146人に対し実績値139,866人であり目標を下回る結果となったが、社会増減数は目標値の364人に対し750人であり目標を上回ることができた。深谷市にずっと住み続けたいと思う市民の割合は、目標値70.60%に対して6.6%であり目標を下回ったが、前年度と比較し0.1%の減少に留められた。
			評価者 企画係長 高田 優

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	令和7年度より深谷市移住支援金の申請に係る事務をオンライン化したことにより、書類不備等の連絡や交付決定通知書の送付をグラフィースマート申請システムを介して行うことができるようになり、窓口対応時間の削減及び郵送費、印刷代、紙・封筒代の削減に繋げることができた。また、オンライン会議システムを利用したオンライン移住相談も開始し、相談者がどこからでも気軽に相談できる体制を整えた。
			評価者 企画係長 高田 優